

令和4年度安来高等学校魅力化コンソーシアム第3回役員会 報告

1. 日時

令和5年2月15日(水) 15:00~16:30

2. 出席者

役職	氏名	所属・役職名
会長	秦 誠司	安来市教育長
	板持 真澄	安来商工会議所専務理事
	石原 敬治	安来市商工会事務局長
	三浦 哲也	島根大学教育研究推進学系特任教授
	新田 典利	島根県立大学副理事長
	難波 真章	安来市立赤江小学校校長
	秦 美沙江	安来市立広瀬中学校校長
	淀谷 正臣	安来市やすぎ暮らし推進課課長
	石井美佐子	安来市地域振興課課長
	平井 薫 (欠席)	安来高校中の海会副会長
副会長	柳樂 眞悟	安来高等学校校長
	大江 将幸	安来高等学校 PTA 会長
	田中 湊	安来高等学校生徒会長

(順不同、敬称略)



3. 議事

(1) 令和4年度事業報告

(1) 地域連携部会	
目的	グランドデザインの実現に向けて、安来市、地元企業、社会教育関係機関などの地域の多様な関係者と連携し、生徒の資質能力の向上を目指す。
事業名	総合的な探究の時間「地域探究Ⅰ～Ⅱ」
	<p>①地域探究Ⅰ（1年生対象）</p> <p>安来節演芸館の課題を解決する学習を通じて探究のサイクルを理解する学習を行った。</p> <p>6/13 安来節演芸館フィールドワーク</p> <p>7/11 ミニプレゼン大会（演芸館、保存会、観光振興課来校）</p> <p>10/12 アイデアプラン・コンテスト</p> <p>②地域探究Ⅱ（2年生対象）</p> <p>「安来をよりよい町にするために」をテーマに探究課題を生徒が各自で設定し、仮説に基づいてアクションを起こし検証する学習を行った。テーマ設定時は、地域で活躍する人約20名を地域講師として招き話を聞いた。また、自分の考えを聞いてもらう場として、地域の大人約80名を招き「トーク・フォーク・ダンス」を実施した。実際に地域でアクションを起こすために、各地区交流センターや様々な団体、学校等に協力を仰いだ。</p> <p>5/24 「Youは安来で何してる？」</p> <p>地域講師約20名来校</p> <p>講師の社会課題に対する活動、思いを聞く</p> <p>6/9 トーク・フォーク・ダンス</p> <p>地域の大人約80名来校</p> <p>自分のテーマを話しフィードバックをもらう</p> <p>10/13 中間発表会</p> <p>3/16 最終発表会（予定）</p>
事業名	安来市内企業の理解促進「進路学習Ⅰ～Ⅲ」
	<p>①企業見学バスツアー</p> <p>11/9に実施。1年生が8班に分かれ市内企業等16事業所を訪問した。訪問先企業は、やすぎ暮らし推進課選定の12社に加え、安来高校で4社に依頼した。</p> <p>②職業人講話</p>

	11/17 実施。1、2年生を対象に、様々な業種から16名の講師を招き話を聞いた。ライセンスアカデミーによる講師に加え、安来高校で5名の地域の講師に依頼した。
(2) 教育接続部会	
目的	島根大学及び島根県立大学等、また市内小中学校等との主体的な対話により、事業をより一体的に進め、魅力ある教育環境を作る。
事業名	高大連携事業
	<p>①県立大学連携 高校生向け「KENDAI 未来アトリエ」</p> <p>安来市と島根県立大学の連携協定による初めての事業で、安来市内2校の高校生を対象、全4回のワークショップと事前視聴動画による講座を実施した。本校からは9名が参加した(1年生2名、2年生3名、3年生4名)。</p> <p>6/1～ 動画配信</p> <p>6/18 ワークショップ① @一風亭</p> <p>7/30 ワークショップ② @安来市役所</p> <p>8/17 ワークショップ③ @一風亭</p> <p>9/17 総括ワークショップ @オンライン</p> <p>11/14 事業報告会</p> <p>②島根大学 次世代たたら共創センター連携 NEXTA「理系人材育成に向けた中高生向け体験プログラム」</p> <p>8/8 実施。市内中学校および安来高校から8名(中1 3名、高1 4名、高3 1名)の参加者があった。</p> <p>事後アンケートでは満足度が5段階の5が7名、4が1名と非常に高かった。「今後もこのようなプログラムに参加したいか」の問いに7名が参加したいという回答であった。参加者した3年生1名は、新設の島根大学材料エネルギー学部合格した。</p>
事業名	小中高連携事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校のICT教育のモデル校(伯太地区)への授業見学の案内をいただいたが、雪で休校になり参加できなかった。 ・総合的な学習の時間の発表会(広瀬中)、市教育研究会英語部会研究授業(伯太中)への案内をいただき参加した。 ・やすぎの学力育成事業(数学)のモデル事業(安来三中、荒島小学校)に関する協議会等に参加した。 ・安来高校で開催した、PTA講演会(5/14)、教員指導力向上セミナー(8/6,7)を市内の小中学校の教職員に案内した。
(3) 生徒募集部会	

目的	市内唯一の普通科高校として多様な進学希望を実現するために、4クラス規模の維持を目指す。そのために、市内入学率の増加及び市外からの入学希望者の増加を目指す。
事業名	情報発信の充実
	<p>①学校だよりの発行 毎月1回発行し市内全戸回覧した。安来高校の活動を知ってもらう上で非常に効果的であり、反響も大きかった。</p> <p>②中学校での高校説明会 6月に市内5中学校と東出雲中学校で実施された高校説明会に参加させていただき、安来高校の目指す教育や求める生徒について説明した。</p>
事業名	下宿環境の整備
	<p>①下宿費補助 市外から下宿をして入学している生徒に対し、月額16,000円の補助を昨年度より増額して安来市から支援していただいた。生活環境向上のための下宿の改修に対する助成金も新設された。</p> <p>②生徒募集に関する情報交換会 7/15実施。安来市やすぎ暮らし推進課、情報科学高校、安来高校の3者に県教委教育指導課中村室長を招き、生徒募集の現状を共有する会を実施した。市内小中学校の児童生徒数の推移等のデータを共有し、4学級維持のために必要な市内進学率等について議論した。また、県外生受け入れのための寮・下宿の支援策について、県教委の方針を確認した。</p>
(4) 事業評価	
<p>【高校魅力化評価システム】(毎年7月実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい R3 49.8%→R4 46.0% ・将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う R3 60.5%→R4 54.3% ・いま住んでいる地域の行事に参加した R3 36.5%→R4 29.4% ・地域社会などでボランティア活動に参加した R3 30.6%→R4 26.9% <p>【ルーブリック評価】(2学期終了時点、全校平均)</p> <p>「当事者意識」 R3 2.40→R4 2.49, 「課題発見解決力」 R3 2.18→R4 2.25, 「発信力」 R3 1.98→R4 2.02, 「自己理解」 R3 1.98→R4 2.16, 「協働する力」 R3 2.42→R4 2.31</p>	

○役員からの意見

(地域連携について)

・高校生が小学校に来て交流することで、小学生にとって「ああいう高校生になりたい」という気持ちが芽生えてくれたらと願っている。また、高校生になったら高校の建物の中だけでなく、地域をフィールドに地域を活性化するようなこともするんだ、と思えばわくわくすると思う。

(事業評価について)

- ・「高校魅力化評価システム」によるアンケート調査は、年度途中だけでなく年度末にも抽出して実施し、正確な効果がわかるようにすべき。
- ・評価指標として年度当初に設定された項目は数値が下降しているが、実際には向上している項目もたくさんあり、指標の設定を見直すことも必要。
- ・評価項目がコントロール可能なものか、また短期的に成果が出るものか長期的な取り組みが必要なものを判断し、優先順位をつけて選択と集中が必要。

(事業全体について)

- ・マンパワーは限られている。持続可能な活動ができるように配慮が必要。

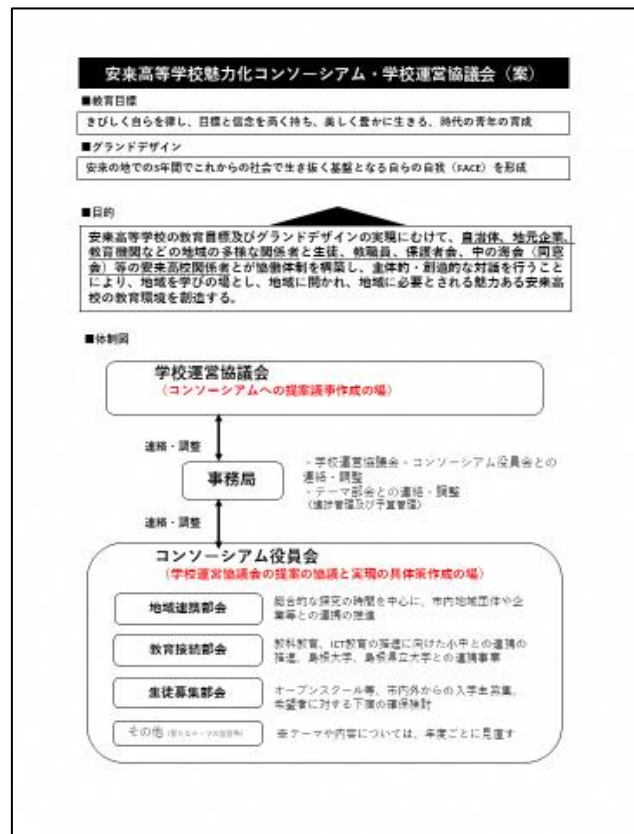
(2) 令和5年度体制について

- ・令和5年度から学校評議員会に代わり、学校運営協議会を設置する。
- ・安来高校では、コンソーシアムの一部の役員が学校運営協議会委員を兼ねることで、コンソーシアムと一体的に運用する。

一承認

○役員からの意見

- ・コンソーシアムが学校運営協議会を兼ねる方が、負担が少ないのではない。無理のない形で始めるのがよい。



4. 意見交換

- ・ボランティアに関して、内容によっては有償ボランティアも検討してはどうか。謝礼を受け取ることも生徒の良い経験になる。
- ・地域の方でも高校生を育てる意識が必要。大人がしつらえたところで高校生が動くのではなく、高校生が考えて活動できる部分がある方が充実した活動になる。
- ・地域に出て活動する中で、高校生はたくさん失敗することもあるだろうが、失敗することによって成長する。自信を持って安心して失敗してほしい。
- ・来年度の安来市からの支援としては、高校魅力化推進員の配置、下宿費の補助、情報科学高校の下宿生の食事の補助がある。コンソーシアム参加団体との取り組みでは、高校魅力化推進員による探究学習のサポート、県立大学との連携の中で未来アトリエ、一風亭次の100年プロジェクト、若年層への就活サポートとして、つながり創出による地元就職促進事業、安来企業ガイドブックがある。

